

茨城県立水戸第三高等学校

音楽科紹介

2024



Let's enjoy music

音楽科って？

水戸三高音楽科は、「音楽に携わる人材の育成」という教育目標のもと、国内外で活躍する演奏家はもとより、学校の音楽の先生や地域の音楽指導者など、数多くの音楽のスペシャリストを輩出している歴史と伝統を持つ学科です。

音楽科では、音楽の表現の意味と楽しさについて再発見し、将来的に音楽の世界で活躍したいと考えている皆さんを応援します。

「音楽が好きだ」「音楽を学びたい」という強い情熱を持っている方、ぜひ水戸三高音楽科で充実した高校生活を送りませんか？

学べる専攻(楽器)



声楽 ピアノ ヴァイオリン ヴィオラ チェロ
コントラバス ハープ クラシックギター
フルート オーボエ クラリネット ファゴット
サクソフォン ホルン トランペット
トロンボーン ユーフォニアム チューバ マリンバ
スネアドラム 作曲

第1専攻として上記から1つを選び、3年間、優れた講師陣による週に1回の個人レッスン（一対一）をとおして幅広い知識と、演奏技術の習得を目指します。

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33				
1年	現代の国語 2		言語文化 2		歴史総合 2		数学Ⅰ 3		科学と人間生活 2		体育 3		保健 1		英語 コミュニケーションⅠ 3		論理・表現Ⅰ 2		情報Ⅰ 2		専攻実技 2		副科Ⅰ 1		音楽理論 1		ソルフェージュ 3		※器楽 アンサンブル 2		HR 1		総探 1				
2年	論理国語 2		古典探究 2		公共 2		数学A 2		生物基礎 2		体育 2		保健 1		英語コミュニケーションⅡ 4		家庭基礎 2		専攻実技 2		副科Ⅰ 1		音楽理論 1		音楽史 2		演奏研究 1		ソルフェージュ 3		※器楽 アンサンブル 2		HR 1		総探 1		
3年	論理国語 2		古典探究 2		地理総合 2		体育 2		英語コミュニケーションⅢ 4		※英語特講 2		※数学特講2 2		※ソルフェージュ 特講 2		※理科特講1 2		※鑑賞研究 2		専攻実技 2		副科Ⅰ 1		音楽理論 2		音楽史 1		演奏研究 2		ソルフェージュ 3		※声楽 アンサンブル 2		HR 1		総探 1
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33				
※令和5年度入学生用																																					
※印は学校設定科目です																																					

*令和5年度入学生用

※印は学校設定科目です

音楽科の授業紹介

専門Ⅰ

第1専攻の個人レッスンです。優れた講師陣が個々の達成度にに応じてきめ細かく対応します。

専門Ⅱ

第2専攻のレッスンです。ピアノ専攻者は声楽を、それ以外の専攻者はピアノを学習します。

ソルフェージュ

聴音(旋律や和声聴いて正しく書き取る)や視唱・視奏(旋律を見て正しく演奏表現する)学習を中心に少人数で習熟度別に行います。

演奏研究

音楽作品についての解釈及び演奏について考えを深めます。

音楽理論

楽典、楽式論、和声法など楽譜を正確に読み取るために必要な知識を身に付けます。

音楽史

西洋音楽の各時代の特色や、作曲家と作品、様式などについて理解を深めます。

器楽アンサンブル

1・2年生全員が弦楽器を学び、基本的な奏法やアンサンブルの力を身に付けます。

声楽アンサンブル

重唱や合唱をとおして、基本的な発声法やアンサンブルの力を身に付けます。



器楽アンサンブル



声楽アンサンブル

鑑賞研究

音楽作品の鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を育成します。

音楽科の行事（令和4年度）

4月	音楽科新入生歓迎会
	ピアノ公開レッスン (講師：国立音楽大学特任教授 渋谷淑子先生)
6月	北関東甲信越音楽系高等学校演奏会
	クラリネット公開レッスン (講師：武蔵野音楽大学特任教授 山本正治先生)
7月	音楽科大学見学会（東京音楽大学） オペラ鑑賞会「蝶々夫人」（プッチーニ作曲）（新国立劇場）
9月	日本音楽講座 声楽公開レッスン (講師：東京藝術大学教授 菅英三子先生)
12月	第59回音楽科卒業演奏会 (ひたちなか市文化会館小ホール)
3月	卒業式



新入生歓迎会



公開レッスン



オペラ鑑賞会



日本音楽講座

充実した設備・環境

音楽科の専門科目の授業は普通教室棟とは別の音楽棟で行われます。

音楽棟には、レッスン室（10室）、練習室（12室）、ソルフェージュ室（3室）、音楽室（2室）、合唱合奏室（1室）があります。全室冷暖房完備で、グランドピアノが各部屋に配置されており、平日朝は7時15分から、放課後は18時30分まで練習する環境が整っています。



レッスン室



ソルフェージュ室



第1音楽室



合唱合奏室

活躍する部活動

普通科・家政科・音楽科の多くの生徒は部活動に入部し、活躍しています。音楽棟では吹奏楽部、コーラス部が放課後活動しています。

吹奏楽部実績

- ・令和4年度 第62回茨城県吹奏楽コンクール 高等学校A部門 銀賞
- ・第57回茨城県アンサンブルコンテスト 木管八重奏 金賞
- ・ソロコンテストいばらき県大会(2023.2.7) A.SAX 金賞



コーラス部実績

- ・第46回全国高等学校総合文化祭 2022 東京大会合唱部門 出場
- ・第90回 NHK 全国学校音楽コンクール茨城県コンクール 銀賞
- ・第77回茨城県合唱コンクール 銅賞
- ・第25回ヴォーカルアンサンブルフェスタいばらき 出場



音楽科に入るには？

◇ 一般入学の概要

- ・音楽実技検査と5教科の学力検査を行います。・募集定員 30名（男女共学）
- ・通学区 茨城県内のどこからでも応募できます。

◇ 音楽実技検査の概要（詳細は茨城県教育委員会ホームページをご覧ください）

- ・聴音記譜（簡単な旋律を聴いて、五線譜に書き取ります）
- ・コールユーブンゲン（指定の範囲より、当日指定の1曲を楽譜を見ながら歌います）
- ・専攻別課題（専攻別に与えられた課題曲を演奏します）

◇ 入試の対策は？

- ・ピアノや楽器のレッスンを受けていたり、合唱部や吹奏楽部で、普段から音楽の勉強をしていたりすることが基本です。その他に、聴音記譜やコールユーブンゲンを中学校の音楽の先生やレッスンを受けている先生に教えてもらう必要があります。

◇ 進路相談のご案内

- ・水戸三高音楽科では、学校説明会の他、中学生体験レッスンや進路相談会を実施しています。音楽科講師によるレッスン、授業内容や入試に関する説明、ソルフェージュ等の体験授業もありますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

卒業生の主な進路先

進学先		R1	R2	R3	R4
国公立	東京藝術大学	1		3(1)	
	茨城大学	1		1	1
私立	国立音楽大学	3		4	1
	昭和音楽大学				1
	洗足学園音楽大学				1
	東京音楽大学	3	2	1	3
	桐朋学園大学		1		
	日本大学	2			
	フェリス学院大学		1		
	武蔵野音楽大学	5	4		
	上野学園大学短期大学部		1		1
	昭和音楽大学短期大学部	1	1		
	茨城キリスト教大学	1	1		
	宇都宮共和国大学				1
	常磐大学	1			
	常磐短期大学	1			

（ ）内過年度卒(内数)

入賞実績（令和4年度）

- ★第46回全国町田ピアノコンクール 第1位
町田市議会議長賞
- ★第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール
木管楽器部門 高校生の部 第5位
- ★第44回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール
木管楽器部門 高校生の部 入選
- ★第16回ベートーベン音楽コンクール 全国大会 入選
- ★第32回日本クラシック音楽コンクール全国大会
クラリネット部門 高校生の部 出場
- ★第9回Kサクソフオーンコンクール 高校生の部
優秀賞

卒業生・在校生からのメッセージ



R5卒 関根 結子

（茨城大学教育学部音楽専修1年）

私は音楽教諭になるために、専攻のピアノや声楽だけでなく、ソルフェージュや音楽史なども幅広く専門的に学びたいと思ったため、水戸三高音楽科を受験しました。音楽科では、クラスメイトや先輩、後輩と音楽について語り合い、切磋琢磨しながら音楽を学ぶことができます。そして、先生方の手厚いサポートがあったからこそ、私は進路実現ができたと思います。これからは理想の教師像に近づけるように努力し、「音楽の授業が楽しかった」と言ってもらえるような教員になりたいです。

中学生の皆さん、音楽科には音楽が好きな皆さんの個性豊かな仲間がいます。ぜひ充実した高校生活を送ってください。



3年 大橋 侑奈

（勝田第一中学校出身）

水戸三高音楽科では普通教科に加えて、専攻実技・音楽理論・ソルフェージュなどの基礎を幅広く学ぶことができます。また、練習室やソルフェージュ室にはそれぞれグランドピアノが完備されており、練習をするのにとても良い環境になっています。

音楽科ならではの行事として、公開レッスンでは大学の先生のレッスンを直接受講することができます。また、オペラ鑑賞会ではプロの方の演奏を生で体感でき、本物の音楽に触れる機会が沢山あります。こうした行事は他にはない、とても貴重な経験だと思います。

生活面では、毎日音楽が好きなクラスメイトと共に学ぶことで、切磋琢磨しながら充実した生活が送れています。先生方は優しくアドバイスや手厚いご指導をしてくれます。進路実現や目標に向けて、入念に準備することができることも三高音楽科の大きな魅力です。



2年 寺内 弘志

（茨城大学附属中学校出身）

私は、三高音楽科が家の近くで音楽を専門的に学べる魅力的な場だと感じ、入学しました。小学生の時、パイプオルガンという自分が進むべき道と出会いました。三高にオルガン専攻はありませんでしたが、ピアノの表現は全ての音楽に繋がってくると思い、ピアノ専攻を志望しました。

高校では、普通教科に加え、毎日音楽について専門的に学習しています。日々の暮らしでは、仲間と音楽について語り合い、また、仲間と切磋琢磨しながら自分の音楽を磨いています。

将来は、三高で学んだ知識を生かし、大学進学をしてもっとオルガンについて研究をし、この水戸にパイプオルガンを弾きに帰ってきたいと考えています。

三高では自分の専攻以外にも沢山の知識を得ることができ、新たな仲間との出会いもあり、大変有意義な場所です。将来音楽の道に進みたい、音楽が好きという方はぜひ一緒に音楽を学びませんか。

非常勤講師の紹介



ピアノ
岡部 昌子

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。パリ・エコール・ノルマルに留学。ピアノと室内楽のデュオプロムを取得。第32回全日本学生音楽コンクールピアノ部門東日本大会第3位入賞。第13回茨城県新人演奏会にて新人賞受賞。水戸芸術館にてリサイタルを開催するなど、ソロ、室内楽の分野で演奏活動を行う。これまでに佐藤隆夫、梅谷進、安川加壽子、深澤亮子、ジャック・ルヴィエの各氏に師事。



ピアノ
小島 慶子

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学大学院修士課程修了。第22回茨城県新人演奏会にて新人賞受賞。第1回夢科音楽コンクール（現セシリア国際音楽コンクール）室内楽部門第2位。現在、茨城県立取手松陽高等学校音楽科、水戸第三高等学校音楽科非常勤講師として後進の指導にあたる傍ら、ソリストとして、また室内楽奏者・伴奏者として、演奏活動を行っている。演奏表現学会、練馬区演奏家協会会員。



ピアノ・ソルフェージュ
田崎 百合子

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科を卒業。ピアノを、玉置善己、加藤伸佳、坂井由紀子の各氏に師事。P、ドヴァイヨン、K、ヤブウォンスキ、B、リグット、練木繁夫、豊田あい子の各氏に指導を受ける。ソルフェージュを、新井精、高橋千佳子の各氏に師事。日本ソルフェージュ研究協議会会員。



ピアノ
中村 佳代

茨城県立水戸第三高等学校音楽科を経て、武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学院音楽研究科修了。イギリス王立音楽大学名誉ディプロマ取得。第15回茨城県新人演奏会にて新人賞受賞。水戸芸術館「茨城の名手・名歌手たち 第1回」に出演。ロンドン、水戸にてリサイタルを開催。ソロ活動の他、姉・中村真由美とピアノ・デュオを結成し、水戸芸術館等でリサイタルを開催。水戸芸術館「水戸の街に響け! 300人の声（第9回）」に毎年出演。戸下生とのピアノアンサンブルコンサートも定期的に開催するなど、幅広く活動している。



ピアノ
森田 凪

水戸第三高等学校音楽科を経て、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。「茨城の名手・名歌手たち 第27回」に出演。水戸芸術館にて「プロムナード・コンサート EXTRA」に出演。国内外の音楽アカデミーを受賞。講師陣推薦による受講生コンサートに出演。これまでにピアノを米元えり、迫昭恵、中村真由美、米田栄子、フォルテピアノを小倉貴久子に師事。現在ソロ活動をする他、伴奏ピアニストとしても活躍。編曲や映画音楽にも携わるなど幅広く活動している。



声楽・ソルフェージュ・重唱・合唱
高橋 侑

水戸第三高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽科卒業後、同大学院修士課程修了。修士課程在学中は、アメリカ人作曲家ドミニク・アージェントの歌曲を中心に研究し学位を取得。第63回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部東京大会3位、同コンクール全国大会入賞。第43回茨城県新人演奏会、奨励賞並びに聴衆賞受賞。第28回茨城の名手・名歌手たちに出演。これまでに紙谷弘子、小泉恵子、永井和子氏に師事。現在は茨城県内中心の演奏の他、ポップスのコーディネーティング、藝大出身女声4人によるアカペラユニット「Rouge」としても積極的に活動を行っている。



器楽アンサンブル
石坂 淑恵

水戸第三高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。及び、同大学院研究科修了。桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。モーツァルト音楽大学夏期国際音楽アカデミーマスタークラス修了。第21回「茨城の名手・名歌手たち」出演。第42回 茨城県新人演奏会奨励賞受賞。第65回 東京国際芸術協会新人演奏会審査員賞受賞。ヴァイオリンを佐藤勝夫、城戸紀子、齋藤孝子、久保田巧、加藤知子、藤原浜雄の各氏に師事。ヴィオラを佐々木亮氏に師事。現在、水戸第三高等学校音楽科非常勤講師、聖徳大学音楽学部演奏支援員。



ピアノ・ソルフェージュ・重唱・合唱
小山田 桃

茨城県土浦市出身。茨城県立水戸第三高等学校音楽科卒業。東京音楽大学音楽専攻（ピアノ演奏家コース）を経て、同大学院修士課程器楽専攻鍵盤楽器研習域（ピアノ）を経て、最良のキャリアリソースにタイム・レディースオケストラと自作曲で共演。春のバリリ研修、ドイツ・エンゲルス国際音楽祭に参加。第6回茨城県国際音楽コンクールアンサンブル部門2台ピアノの部審査員特別賞。第7回茨城県国際音楽コンクールピアノ協奏曲部門第1位。オーディション合格者による第24回水戸芸術館「茨城の名手・名歌手たち」、第41回茨城県新人演奏会に出演。茨城県演奏家連盟会員。アトリエ・アッシュアサロメンバー。これまでにピアノを岩田文子、岡部昌子、奏はるひ、関根有子、石井英樹、作曲を大久保ひとみ、青木道名の各氏に師事。



ピアノ
小林 由佳

水戸第三高等学校音楽科卒業。東京音楽大学ピアノ演奏家コース特待生入学。首席卒業（総代）、研究科修了。第14回茨城県新人演奏会新人賞受賞。主なる活動はバリ、ミラノ・ソッカル、プザッレでの公演、新国立劇場、びわ湖ホール等の著名な音楽家たちとの共演。水戸芸術館でのオペラ（魔笛）は毎日新聞にて音楽評論家・吉田秀和氏から編曲演奏を高く評価された。彦根城築城400年記念コンサートで高円宮妃御前演奏。水戸芸術館で「300人の声の九し」、横浜開港祭では音楽監督として毎年、市民千人合唱と財津和夫、沢田知可子、May'n などJpopアーティストとの共演において、合唱編曲、演奏、指導を担当。現在、東京音楽大学（電子オルガン、ピアノ科）講師。



ピアノ
飛田 紗智恵

茨城県立水戸第三高等学校音楽科を経て、東京音楽大学ピアノ科卒業。ミラノ国際アカデミー（旧ミラノ音楽家）にて研鑽を積み、ソロ、室内楽ディプロマ取得。茨城県芸術祭県民コンサートにて奨励賞。第3回茨城県ピアノオーディション最優秀賞並びに県教育委員会教育長賞受賞。「茨城の名手・名歌手たち 第11回」、第27回茨城県新人演奏会等出演。2013年水戸芸術館にてピアノ・リサイタルを開催。「茨城の名手・名歌手たち 第24回」にピアノデュオで出演。これまでに江崎和子、藤原純子、小林出、Andrea Di Renzo、Silvia Costanzoの各氏に師事。Ayu Kiyumjian、横山幸雄の各氏のレッスンを受講。ソロ、ピアノデュオ（Le Simpatiche）、茨城県文化振興会演奏会、作曲家と演奏家のグループ（水現21）会員として演奏活動を行う。



ピアノ
中村 真由美

東京藝術大学音楽学部器楽科（ピアノ専攻）卒業。コロラド大学音楽学部（ピアノ演奏）修士課程修了。1988年全米音楽指導者協会（MTNA）主催コンクール、ファイナリスト。89年第3回マスターズ国際ピアノコンクール、奨励賞受賞。水戸芸術館「茨城の名手・名歌手たち 第3回」に出演。水戸市民会館、水戸芸術館にてリサイタルを開催。ソロ活動の他、姉・中村佳代とピアノ・デュオを結成し、水戸芸術館等でリサイタルを開催。水戸芸術館「水戸の街に響け! 300人の声（第9回）」に毎年出演。戸下生とのピアノアンサンブルコンサートも定期的に開催するなど、幅広く活動している。現在、茨城県立取手松陽高等学校音楽科非常勤講師。



声楽
柿長 飛鳥

茨城県笠間市出身。水戸第二高等学校卒業。東京藝術大学音楽科を経て、アメリカニューヨークへ留学。ニューヨーク市立ブルックリンカレッジ大学院修士課程を修了。モーツァルトウム夏期国際アカデミー、シカゴ音楽家オペラ、VOICE EXPERIENCE FOUNDATION（フロリダ）に参加。第33回ソレイユ音楽コンクール第3位（審査員奨励賞）、第13回チェコ音楽コンクール第2位受賞。2014年「茨城の名手・名歌手たち 第24回」、第47回茨城県新人演奏会に出演。現在、新国立劇場合唱団登録メンバーとして活動中。



声楽
茅根 順子

東京音楽大学声楽科卒業。高等学校音楽教師として勤務する傍らコンサート活動を続ける。1991年オーストリ・ウィーンアカデミー国立音楽大学でドイツリートを研鑽。水戸芸術館「茨城の名手・名歌手たち 第9回」に出演。96年より常陸大宮市文化センターにて「茅根順子リサイタル」を5回開催。2005年第16回音楽家日本歌曲コンクール3位入賞。08年音楽家友ホールに於いて、シリーズ「日本歌曲と音の魔術師たち」に出演。17年水戸芸術館にて「茅根順子リサイタルVI」を開催。塚田佳男、中沢桂、青山恵子、瀬山詠子の各氏に師事する。



器楽アンサンブル・音楽理論・ソルフェージュ
小高根 ふみ

都立芸術高校を経て東京藝術大学音楽学部ヴァイオリン専攻卒業。同大学院修士課程ソルフェージュ専攻修了。ヴァイオリン奏者目録でのソルフェージュ教育研究に取り組みながら後進の指導にあたるほか、室内楽やオーケストラ等で演奏活動を行っている。市川市文化振興財団新人演奏家コンクール弦楽部門優秀賞。ヴァイオリンを小高根理子、高橋孝子、霧花紀子、岡山達、遠藤孝子の各氏に、ソルフェージュを上田眞樹、林達也、レ・シュエの各氏に、室内楽を松原勝也、迫昭恵、藤森亮一の各氏に師事。東京藝術大学教育研究助手、Y.A. ミュージックアカデミー講師。



ピアノ
小菅 綾

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経て、同大学院音楽研究科器楽科修士課程修了。中下千夏、佐々木恵子、磯井俊樹、エフ・ボブウツカ、奏はるひの各氏に師事。在学中より国内外でのマスタークラスに多数参加し、研鑽を積み、現在は茨城、都内を中心にソロ・アンサンブルを問わず積極的に演奏活動を行い、多くのアーティストと共演。アトリエ・アッシュメンバーとして世界初録音となる「チェルニー：12の前奏曲とフーガ Op.400」のCD録音に参加し、レコード芸術誌にて準特選盤に選出される。ひたちなか市にて小菅綾ピアノ教室主宰。ピアノ指導者賞受賞。（一社）ひたちのかに楽友会理事。



ピアノ・ソルフェージュ
高野 真美

水戸第三高等学校音楽科、東京音楽大学器楽専攻ピアノ演奏家コースを卒業。第29回茨城の名手・名歌手たちに出演。第7回茨城の名手・名歌手たち、松文コンサートに出演。第47回茨城県新人演奏会に出演。これまでにピアノを古山真由美、和田祐子、小高明子、渚智佳の各氏に師事。茨城県内特別支援学校、中学校音楽での講師、非常勤講師を経て、現在水戸第三高等学校非常勤講師。県内を中心に活動をするアンサンブルトリオ「いばらき3人娘 etoile」をはじめ、音楽指導・吹奏楽指導、伴奏を中心に活動を行う。



ピアノ
富田 悠貴乃

茨城県水戸市出身。小学生の頃一年間父の転勤に伴いアメリカに滞在し、稲川佳奈子氏に会出会う。帰国後、桐朋学園音楽学部附属子供のための音楽教室に通い、ピアノのほかソルフェージュの勉強も始める。茨城県立水戸第三高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻卒業。在学中 New York Summer Music Festival に参加。これまで坂田由美、福川佳奈子、櫻井大伍、稲村純子、片岡麻衣、長瀬賢弘、西山裕子、掛谷勇三、アルバート・ロトの各氏に師事。現在、地元音楽教室ピアノ講師、伴奏者として活動。



ピアノ
山口 泉恵

水戸第二高等学校音楽科を経て、東京音楽大学（ピアノ）演奏家コース卒業。同大学院研究科修了。NHK 新人洋楽オーディション合格。第17回茨城県新人演奏会にて新人賞受賞。水戸芸術館「茨城の名手・名歌手たち 第1回」に出演。これまでに吉水利子、小島久里、中山靖子、佐藤由紀子、弘中孝の各氏に師事。現在、水戸三音楽科および東京音楽大学非常勤講師として後進の指導にあたりながら、各地でソリスト、室内楽奏者として活動している。日本演奏家連盟会員。



声楽
川上 茉莉絵

水戸第三高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科を首席にて卒業。同大学院修士課程音楽研究科声楽オペラ専攻修了後、ドイツのシュトゥットガルト音楽大学声楽科の特別修了。高校在学中に「茨城の名手・名歌手たち 第16回」に出演。大学部卒業時に大賞典雄賞、松田トシ賞、アカンサス賞、同学会賞を受賞し、皇居・桃華楽堂における宮内庁主催御前演奏会に出演。これまでに文化庁文化芸術推進事業、新国立劇場特別公演の、様々なオペラに出演し演奏活動を行っている。



声楽
藤澤 史帆

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学大学院ヴァイタル・ソルフェージュ声楽科を首席にて修了。在学中福井真秋記念奨学金を授けられる。オーディションにより選ばれ、坂東三郎特別招請教授による公開講座を受講。同大学卒業演奏会、修了演奏会、第89回読売新人演奏会に出演。第11回東京国際音楽コンクール 新進音楽家部門第2位（1位該当なし）、東京新聞賞受賞。若菜圭子氏、岡崎雅明氏に師事。現在、武蔵野音楽大学学研員。



器楽アンサンブル
栗原 りか

東京藝術大学器楽科卒業。「オズの魔法使い」「レ・ミゼラブル」「アニー」などのミュージカルオケストラでコンサートマスターをつとめるほか、数多くのオーケストラ、室内楽など、ジャンルを問わず演奏活動を行っている。佐藤勝夫、高野義雄、水野佐知子の各氏に師事。

非常勤講師の紹介



器楽アンサンブル
前澤 扶美
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、オーストリア国立ザルツブルグ・モーツァルテウム大学音楽学部卒業。在学中、モーツァルテウム管弦楽団（プロ）の客員奏者。ヴァイオリンを大谷康子、海野義雄、ルツェーロ・リッヂの各氏に師事。
帰国後は介護老人保健施設に就職。介護福祉士を取得。音楽好きな施設長の影響で、ソリストとして水戸パッハレギウムとヴィヴァルディの「四季」全曲を共演する等、演奏歴も多数。現在、水戸英宏中学校英語科非常勤講師。



器楽アンサンブル
山田 圭子
茨城県水戸市出身。水戸第三高等学校音楽科、東京音楽大学音楽部器楽科卒業。洗足学園音楽大学大学院音楽科修了。ヴァイオリンを辰巳明子、ウィオラを兎東俊之、大野おる、岡田伸夫の各氏に師事。第14回・スプリング音楽コンクール入選、第23回クラシック音楽オーディション合格、第10回関西音楽コンクール優良賞、第21回和歌山音楽コンクール大学以上の部第3位（1、2位なし）。平成20年度洗足学園音楽大学前門音楽奨励賞受賞。幼稚園、小学校での教育機関や福祉施設での演奏を積極的に活動している。



器楽アンサンブル
山田 圭子
ヴァイオリンで都立芸術高校、東京藝術大学、フランクフルト国立音楽大学卒業。東京文化会館推薦音楽家出演。霧島国際音楽祭奨励賞受賞。ウィオラで東京藝術大学音楽学部別科修了。第4回日本アンサンブルコンクール池田賞受賞。ヴァイオリンを石橋紀代子、岩崎洋三、浦川宜也、エディット・バイネマンの各氏に、ウィオラを白尾徹子、大野おるの各氏に師事。現在、独奏・室内楽を中心に演奏活動を行う。茨城県立取手松陽高校音楽科非常勤講師。つくばサロコンサートのメンバー。



チェロ・器楽アンサンブル
豊原 さやか
東京藝術大学音楽学部器楽科、京都市立芸術大学大学院卒業。同大学院卒業後、新日本フィルハーモニー交響楽団団員として1年間活動。渡独しマインツ州立歌劇場付属オーケストラの研修生を経てフライブルグ音楽院でディプロムを取得。帰国後はソロ、室内楽の他、バロック音楽、宗教音楽の分野でも活動。これまでにチェロを黒川正三、上村昇、花崎薫、C.ヘンケルの各氏に、室内楽を河野文明、浦川宜也、R.クスマワルの各氏に師事。



器楽アンサンブル
石橋 京子
茨城県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。これまでに永島義男、西田直文、山本修の各氏に師事。現在フリーランス奏者。長野県小諸高等学校音楽科特任講師、茨城県立水戸第三高等学校音楽科非常勤講師。



フルート
浅田 結希
東京藝術大学で同声会賞を得て卒業、記念コンサートに出演する。同大学院修士課程終了。第58回全日本学生音楽コンクール九州大会第1位、第11回全日本学生音楽コンクール最優秀賞、第33回宮崎県独唱独奏音楽コンクールグランプリ、第18回コンセルヴァトワール21第1位、第20回びわ湖国際フルートコンクール入選。藝大在学中に試験により選抜され、モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニーと共演する。



クラリネット
照沼 夢輝
茨城県出身。水戸第三高等学校音楽科を経て、東京藝術大学卒業。クラリネットを吉田隆一、大野洋子、山本正治、金子平の各氏に、指揮を池澤進治氏に師事。またチーロス・ナイディック、バカル・モジス、カル・ライスター、リカルド・モリス、ロビン・グレンツマンの各氏に師事している。第21回日本クラシック音楽コンクール第2位、第4回仙台音楽コンクール第3位（2位なし）、第90回日本音楽コンクール入選。ARDミューンヘン国際音楽コンクールブライの最優秀コンクールなどに出演。第5回ジャコブ・スタインマンクラリネットコンクールセ・ファイナリスト。サイトウネンフェスティバル、小澤征爾音楽祭オーケストラやフィリス夏の音楽祭などに出演。日本フィルハーモニー交響楽団クラリネット奏者に就任。ばんだウインドオーケストラ、現代音楽アンサンブル「トーンズ」メンバー、ピュッフェ・クラリネット特別講師。水戸第三高等学校音楽科非常勤講師。水戸ジュニアオーケストラ指揮者。



クラリネット
吉田 かなえ
茨城県立水戸第三高等学校音楽科を経て、東京音楽大学を卒業。音楽コンセルヴァトワールディプロマを修了。ヤマハ音楽器新人演奏会第32回クラリネット部門に出演。第41回・46回茨城県新人演奏会に出演（41回最優秀）、2018年茨城県民コンサートに出演し特賞を受賞。ソロ・室内楽を中心とする演奏活動の傍ら、大人から子供まで幅広い層の演奏指導。また吹奏楽指導の分野にも力をいれ、多方面で活動を展開している。クラリネットをR.Schmidt、渡辺J.K.Schmidt、J. Hindlerのレッスンを受講。現在、茨城県立水戸第三高等学校音楽科、洗足学園音楽大学非常勤講師。社団法人Youth Classicメンバー。



サクソフォン
柳下 柚子
洗足学園音楽大学を卒業後、東京藝術大学大学院で修士号（D.M.）を取得。フランスでサクソフォンの初等教育を研究し、科学研究費助成事業にて日本における音楽の早期教育プロジェクト、東京大学と音楽教育のための共同研究を行う。また、文化庁主催の文化芸術による子供の育成事業や官民連携プラットフォームにて0歳児からの親子コンサートや楽器体験事業を企画し、全道の保育園や小学校にてコンサート活動を展開している。第1回K国際サックスコンクール第3位、第11回Jr.サクソフォンコンクール入賞、第13回日本クラシック音楽コンクール入賞、東京藝術大学大学院アカンサス音楽奨励賞。国際音楽芸術振興財団、山田良夫音楽財団、ヤマノ文化財団、福島音楽奨励会、東京藝術大学専門研究員。聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校音楽科非常勤講師。



ホルン
皆川 実輝
埼玉県立芸術総合高等学校音楽科を経て、武蔵野音楽大学ヴィルトゥオソ音楽科卒業。2012年度福井県立記念奨励会音楽奨励会奨励学生。ホルンを須山芳博氏に、室内楽をRoger Bobo、甲斐道雄、一戸敦、井上順平、丸山勉の各氏に師事。またStefan Dohr、Christian-Friedrich Dallmann、Nico De Marchi、Frank Demmlerの各氏のマスタークラスを受講。フリーランスの演奏家として活動する傍ら小・中・高等学校の吹奏楽部指導や講習会の講師などを行っている。茨城県立水戸第三高等学校音楽科非常勤講師、東京都立上水高等学校吹奏楽部活動指導員。



トランペット
飛田 遥香
茨城県出身。東京藝術大学を卒業。これまでにトランペットを、楠本浩規、古田俊博、菊本和昭、佐藤友紀、木村英一、畑田加奈の各氏に、室内楽を楠本浩規、日高剛、高橋貴治の各氏に師事。第8回JBA関東甲信越支部中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト全国大会 最優秀賞・特別賞。第12回日本ジュニア管打楽器コンクール金賞・文部科学大臣賞。2017年小澤征爾音楽塾において、セージ・オザワモットフェスティバルに参加。2019年学内の室内楽定期演奏会に金管五重奏で出演。ドルチェ美都デビューコンサートに出演。第45回茨城県新人演奏会 聴衆賞。第30回茨城の名手・名歌手たち出演。FILM BRASS、水戸トランペットアンサンブル、Trumpet Duo Hokuoku各メンバー。



チューバ
木曾原 榛紀
東京都調布市出身。東京都立総合芸術高等学校を経て東京藝術大学器楽科卒業。第17回ジュニア管打楽器コンクールチューバ部門にて金賞受賞。2018 Jeju international brass competition セミファイナリスト。これまでにチューバを本間雅智、佐藤桃、池田幸広、佐藤和彦の各氏に師事。チューバでの活動以外でも音楽ユニット Brave Brain にて vocal と作詞作曲も手掛けており、これまでに数作品をリリース。楽曲提供や様々なレコーディングにも携わり音楽活動は多岐に渡る。一般社団法人 BRASS EXCEED TOKYO チューバ奏者。



打楽器
石川 大樹
長野県小諸市出身。幼少の頃よりピアノを独学で弾き音楽に親しむ。中学校の吹奏楽部入部をきっかけに打楽器を始める。長野県小諸高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。東京藝術大学同声会長野支部の顧問で長野県新人演奏会に出演。これまでに打楽器全般を萩原松美、杉山智恵子、藤本隆文の各氏に師事。現在フリーランスの打楽器奏者として東京、地元長野を中心に演奏活動を行う。オーケストラや吹奏楽等、活動は多岐にわたる。また後進の指導にも積極的にあたっている。長野県にゆかりのあるプロ奏者によるオーケストラ、ensembleNOVA所属。プラスアンサンブル「FILM BRASS」メンバー。



打楽器
長谷川 知里
埼玉県春日部市出身。埼玉栄高等学校を経て、武蔵野音楽大学演奏学科 器楽科を卒業。現在、同大学別科に在籍。大学在学中、武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル演奏会に出演。これまでに打楽器を篠塚裕美子、渡辺由美子、安藤芳広、黒田英実の各氏に師事。水戸第三高等学校非常勤講師。



ソルフェージュ
小崎 光洋
桐朋学園大学音楽学部作曲専攻卒業。現在、OTOの会、並びに水現21会員として作品を継続的に発表。本校のほか、聖徳大学音楽学部、茨城県立取手松陽高等学校音楽科、聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校音楽科講師。トニカ音楽院代表。



ソルフェージュ
波立 裕矢
1995年生まれ。2018年愛知県立芸術大学音楽学部卒業。2021年東京藝術大学大学院修士課程修了。第35回現音作曲新人賞受賞。第89回日本音楽コンクール作曲部門一位並びに明治安田賞、三善賞受賞。第32回芥川也寸志サントリー作曲賞受賞。桐朋学園大学非常勤講師。



音楽史・ソルフェージュ
吉田 桂子
東京藝術大学作曲科卒業、同大学院音楽研究科（ソルフェージュ専攻）修了。合唱指揮曲作品を多く手がけ、合唱指導、ピアニストとして活動する。また鍵盤ハーモニカの可能性に着目し、奏者との表現活動をしながらか多量の作品を提供、発表している。作曲を野田暉行、島岡譲各氏に、ソルフェージュを細野孝典、永富正之各氏に、伴奏法を野平一郎氏に師事。東京藝術大学および附属音楽高校非常勤講師を経て、現在茨城県立水戸第三高等学校非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会会員。

茨城県立水戸第三高等学校 音楽科

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸 2-7-27
TEL：029-224-2044 FAX：029-225-4524
水戸第三高等学校 HP：<http://www.mito3-h.ed.jp/>